

平成27年度環境とやま県民会議 事業報告

1 統一活動

私たちは、廃棄物などの身近な問題から地球温暖化をはじめとする地球的規模の問題に至るまで様々な環境問題に直面している。

これらの環境問題に適切に対応し、本県の素晴らしい環境を次の世代に引き継ぐためには、私たち一人ひとりが、環境について学び、ライフスタイルや事業活動のあり方を見直し、少ない資源、少ないエネルギーで生活する循環型社会と低炭素社会づくりを目指して行動していくことが求められている。

こうしたことから、当県民会議では、昨年度も引き続き統一活動として「とやまエコ・ストア制度」の普及・拡大を図るとともに、とやま環境フェアなど各種イベントを開催し、県民のエコライフの定着・拡大を呼びかけた。

当県民会議では、①「循環型社会と低炭素社会づくりの推進」、②「とやま節電・省エネキャンペーン」、③「環境教育・環境保全活動の推進」を事業の柱とし、これらを中心として、県民、企業、民間団体、行政が情報を共有し、一体となって事業を展開した。

2 事業内容

(1) 循環型社会と低炭素社会づくりの推進

<循環型社会づくり>

①とやまエコ・ストア制度普及・拡大事業の実施

・主 催 とやまエコ・ストア連絡協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団

・実施期間 平成27年4月～平成28年3月

・内 容 平成20年4月から26年度末までのレジ袋削減枚数が10億枚に達したことを機に、これまでの県民・事業者の協力に感謝するとともに、取組みをさらにサポートするため「レジ袋削減10億枚達成記念キャンペーン」を実施した。

また、引き続き登録事業者を拡大するとともに、環境保全の推進や、消費の大きい多子世帯への支援を目的として、レジ袋無料配布廃止店舗で利用できるプレミアム商品券を発行するなど、「とやまエコ・ストア制度」のさらなる普及・拡大を図り、県民のエコライフの定着・拡大を推進した。

・実 績 登録状況 (74社1, 151店舗・6 商店街、平成27年12月現在)

②とやま環境フェア2015の開催

・主 催 とやま環境フェア2015開催委員会

・実施時期 平成27年10月17日(土)、18日(日) (3 R 推進月間)

・会 場 富山テクノホール (富山産業展示館)

・内 容 水と緑に恵まれた富山県の豊かな環境を守るとともに、よりよい環境を創造するため、循環型・低炭素・自然共生をテーマとした各種展示や実演、発表等を行い、環境保全活動の啓発を行った。

・実 績 2日間で約9, 300名参加

③ごみゼロ推進県民大会の開催

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議
- ・実施時期 平成27年10月17日(土) (とやま環境フェア2015と併催) (3R推進月間)
- ・内 容 廃棄物の減量化やリサイクルの推進に関する関係者の理解を深め、ごみゼロ型社会の取組みを推進するため、表彰や活動報告を行った。
- ・実 績 約150名参加
環境とやま県民会議会長表彰
ごみゼロ・リサイクルの推進功労者：2団体
地球温暖化対策推進功労者：2団体
とやまエコ・ストア制度に関する功労者：1事業所

<低炭素社会づくり>

①エコドライブ推進運動の実施

(ア)エコドライブの推進

- ・主 催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団 (富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・開催時期 平成27年4月～平成28年3月
- ・内 容 大気汚染の原因となる窒素酸化物及び地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出の削減並びに燃料消費量削減に伴う省エネルギー等の効果があるエコドライブを実践するため、各主体が開催する講習会への参加などによりエコドライブの方法及び効果について理解を深めた。
併せて、エコドライブとやま推進協議会が募集しているエコドライブ宣言に協力し、率先してエコドライブを実践した。
- ・宣言者数 113,979名 (平成28年2月現在)

②(イ)エコドライブ実践促進事業

- ・主 催 エコドライブとやま推進協議会
- ・開催時期 平成27年10月17日(土)、18日(日) (とやま環境フェア2015内で実施)
- ・内 容 気軽にエコドライブを体験できる機会を提供するため、仮想的にエコドライブを体験できるシミュレーターを用いた体験会を開催し、エコドライブの一層の定着・拡大を推進した。

③(イ)②気候変動シンポジウムin富山の開催

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 平成28年1月30日(土)
- ・内 容 県民の環境問題に対する関心や理解を深めるとともに、G7富山環境大臣会合に向け、機運の醸成を図るため、環境大臣会合の議題の一つに想定されている気候変動や地球温暖化対策をテーマに、講演やパネルディスカッションを実施した。

- ・実績 約600名参加

③エコアクション21推進事業の実施

- ・主催 富山県、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター、エコアクション21地域事務局）
- ・実施時期 平成27年4月～平成28年3月
- ・内容 中小企業向けの環境マネジメントシステムである「エコアクション21」制度の普及を図るとともに、「エコアクション21自治体イニシアティブ・プログラム」を実施し、導入を促進した。
- ・実績 認証・登録：104事業者（とやま地域事務局受付分、平成28年2月現在）、イニシアティブ・プログラム：16事業者

④環境経営セミナー及びエコアクション21・10周年記念大会inとやま

- ・主催 (公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター、エコアクション21地方事務局）、(一財)持続性推進機構（エコアクション21中央事務局）
- ・実施期間 平成28年2月17日(水)
- ・会場 パレブラン高志会館
- ・内容 事業者における環境経営への理解と取組みを支援するため、事業者による事例紹介や環境経営に関する講演を行うセミナーを開催した。また、中小企業向け環境経営システム「エコアクション21」の取組みが始まって10年が経過したことから、10周年記念行事を併せて開催し、事業者や自治体の表彰を行った。
- ・実績 約160名参加
エコアクション21認証・登録制度10周年記念表彰：6事業者、1自治体
エコアクション21富山県環境活動レポート大賞：4事業者

⑤省エネセミナーの開催

- ・主催 富山県、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・実施時期 平成27年11月17日(火)
- ・会場 富山県総合福祉会館
- ・内容 エネルギー需要が高まる冬に向けて、工場・事業場に対して、省エネ等の実施を呼びかけるため、省エネの進め方や省エネ補助金に関する講演を行った。
- ・実績 約200名参加

⑥ノーマイカー運動への参加

- ・主催 富山県公共交通利用促進協議会
- ・実施期間 平成28年2月15日(月)～3月11日(金)

- ・内 容 公共交通の利用拡大と環境負荷軽減を目的に実施されるノーマイカー運動に参加することで、過度にマイカーに依存した生活を見直し、エコライフスタイルへ転換するきっかけとした。

(2)とやま節電・省エネキャンペーン 2015

①クールビズ、ウォームビズ、うちエコ！の実践

- ・主 催 環境省、環境とやま県民会議
- ・開催時期 夏季、冬季
- ・内 容 夏のオフィスのエアコン設定温度を28℃とし、涼しく快適に過ごすために軽装（クールビズ）を実践した。また、冬のオフィスのエアコン設定温度を20℃とし、暖房に頼りすぎず、快適に過ごすビジネススタイル（ウォームビズ）を実践した。

さらに、クールビズ、ウォームビズの取組みをオフィスから家（うち）の中まで広げて「うちエコ！」を実践した。

②地球温暖化防止のためのCO₂削減／ライトダウンキャンペーンの実施

- ・主 催 環境省、富山県、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・開催時期 平成27年6月22日(月)～7月7日(火)
- ・内 容 夏至の日と七夕両日の夜8時から10時までの2時間を特別実施日として設定し、「ライトダウンする夜は、みんなが地球を想う夜。」をスローガンに、家庭の不要な電気の消灯や、安全面、防犯面等で支障のない範囲でのライトアップ施設の消灯への協力を呼びかけた。
- ・実 績 協力施設：563施設

(3)環境教育・環境保全活動の推進

①環境とやま県民会議総会、エコライフ・アクト大会の開催

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 平成27年6月21日(日)（環境月間）
- ・会 場 総曲輪グランドプラザ（富山市）
- ・内 容 環境とやま県民会議総会を開催し、事業計画等を報告した。また、同日、エコライフスタイルを推進するため、エコライフ・アクト大会を開催した。
- ・実 績 約300名参加

②エコライフ・イベントの実施

- ・主 催 県内10市、富山県、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 平成27年4月～平成28年3月
- ・内 容 地域での取組みを推進するため、県内10市において、地球温暖化防止やごみゼロなどのテーマに基づき、「エコライフ・イベント」を実施した。また、

構成団体においては積極的に参加し、エコライフへの理解を深めた。

- ・実績 約28,700名参加

市	期間	テーマ	来場者数
南砺市	4月～10月	エコビレッジ構想の普及啓発	300名
富山市	7月26日(日)	考えよう、環境のこと。とやまの未来は君がつくる!	2,900名
高岡市	7月30日(木)	環境に対する意識の育成	36名
	11月20日(金)	バイオマスの有効活用	18名
黒部市	9月6日(日)	エコライフスタイルの促進	1,900名
魚津市	9月19日(土)	つなごう未来へ自然の恵み・魚津・山～海	600名
射水市	10月4日(日)	エコの輪 人の輪 いずみの輪	3,500名
滑川市	10月17日(土)	環境問題	400名
小矢部市	11月14日(土)	地球温暖化防止	10,000名
	11月15日(日)		
砺波市	11月29日(日)	エコライフの推進	9,000名

※氷見市は3月19日に「氷見の豊かな自然から水環境を考える」をテーマに開催予定

③環境保全・環境教育に関する活動支援事業の実施

- ・主催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・実施期間 平成27年4月～平成28年3月
- ・内容 (公財)とやま環境財団に環境保全相談室を設置し、各種相談への対応、幼児とその保護者を対象としたエコライフ教室及び小学生とその保護者を対象とした環境学習体験ツアーの企画運営を行った。
また、企業と民間団体等の連携・協働による環境保全活動を促進するため、エコノワとやま交流会を開催するとともに、県内で行われている様々な環境保全・環境教育活動について、ウェブサイト「エコノワとやま」を通じて情報発信し、環境保全・環境教育活動の拡大を図った。
- ・実績 エコライフ教室：16回、環境学習体験ツアー：5回
エコノワとやま交流会の開催（平成27年10月17日(土)、約30名参加）

④とやま環境チャレンジ10事業の実施

- ・主催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・実施期間 平成27年4月～12月
- ・内容 小学4年生（10歳）の児童が、家庭における10の取組みを4週間実践することにより、児童と家族の環境保全意識を高めた。
- ・実績 県内全市町村で合計66校、児童3,784名

⑤スターウォッチング推進事業の実施

- ・主 催 富山県立大学天文部、富山県、環境とやま県民会議
- ・開催時期 平成27年10月18日(日) (とやま環境フェア2015内で実施)
- ・内 容 大気汚染のない清澄な大気への関心を深めるとともに、身近な環境保全活動の実践への契機とするため、星空観察を疑似体験するプラネタリウム工作教室を開催した。